

## 横浜市中央卸売市場魚食普及推進協議会が 「魚の国のしあわせ大賞奨励賞」を受賞しました！



横浜市中央卸売市場魚食普及推進協議会は、水産物部の卸売業者2社、横浜魚市場卸協同組合、関連事業者協同組合、横浜市で構成する団体で、魚食の普及・拡大及び消費促進を目的として活動しています。

このたび、「魚の国のしあわせ」推進会議において、魚食普及に積極的に取り組む活動が評価され、2018年度魚の国のしあわせ大賞奨励賞を受賞しました。令和元年9月27日に「魚の国のしあわせ」プロジェクト事務局である水産庁から表彰状が授与されましたので、お知らせいたします。

<表彰式の様子について>



<魚食普及推進協議会の主な活動内容>

○料理教室

人気の親子料理教室やお寿司教室、お節やひなまつりなど季節に応じた料理教室などを月に1回程度開催しています。

○出前授業

市内小学校や食に関する事業者等を対象に、市場の役割や魚の美味しさを伝える授業を実施しています。

○市場一般開放

毎月第一・第三土曜日の午前9時から11時まで水産物部を一般開放し、一般の方々との交流のための各種イベントを開催しています。仲卸店舗で新鮮な食材が購入できるほか、市場探検隊やマグロ解体ショーなど、人気のイベントを実施しています。



<料理教室>



<出前授業>



<市場開放のマグロ解体ショー>

【「魚の国のしあわせ」プロジェクトとは】

2012年8月から始まった「魚の国のしあわせ」プロジェクトは、周囲を海に囲まれ、多様な水産物に恵まれた日本に生活する幸せを、5つのコンセプトに基づき、国民の皆様に実感していただくため、生産者、水産関係団体、流通小売業者や各種メーカー、教育関係者、行政等、水産物に関わるあらゆる方々が一体となって進めていく取り組みです。

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

<b>お問合せ先</b>
経済局中央卸売市場本場経営支援課長 永井 隆 Tel 045-459-3331